

子どもは地域の宝、子育ては地域の営み

『地域子育て支援委員会』活動中！

少子化の要因として、未婚率の上昇や晩婚化の進行などのほか、若い世代が子育て環境について不安を感じていることが指摘されています。かつては近隣や地域全体で支えていた「子育て」が、核家族化、都市化の進行により、十分機能しなくなってきたことが背景にあると考えられます。

こうした状況に対応するため、市では子育て支援を地域レベルで展開する「地域子育て支援委員会」を設置しています。各地域子育て支援委員会では、子育て支援関係団体や関係機関で展開している事業を調整し、住民自身の手で地域ぐるみの子育て支援策を企画、立案、実施しています。

今回は、各地区の特色ある取り組みの一部を紹介します。

社南地区子育て支援委員会

子育て中の親同士が交流・
情報交換できる場を！
仲間作りが大切です

委員長 松田 久美子 さん



社南地区では、地域内の子育て中の親同士が交流し、情報交換できる場を提供することで、安心して子育てできる環境づくりを行っています。

月に1回、日常のささいな悩みや不安などをスタッフや親同士で安心して話せる場として「ママたちのしゃべり場」を実施しています。できるだけ多くの人に参加してもらえるように、子育てに役立つ講座や親子で参加できる企画を考えるなどの工夫をしています。

また毎年2月頃には、小学校就学直前の子どもを持つ保護者を対象として「先輩ママとの交流会」を実施しており、「小さなことでも気軽に相談できて楽になった」などと好評を得ています。

昨今、さまざまな子育て支援がありますが、一番身近な地域でこのような場を設けることにより、親子が身近に仲間をつくることができます。また、地域になじんで周囲の協力を得やすくなるなどの利点もあるため、今後もこの活動を充実させていきたいと考えています。



先輩ママとの交流会の様子

木田地区子育て支援委員会

地域みんなで子どもを見守る
「安全・安心運動」に取り組んでいます

委員長 滝川 暁子 さん



木田地区では、地域の人々で子どもを見守る「安全・安心運動」に積極的に取り組んでおり、地域の団体や組織が協力して活動を行っています。主な取り組みとしては、南警察署との連携による「安全・安心パトロール」や「木田っ子かけこみ所」のステッカー作成、PTAによる子どもへの「声かけ」の推進があります。また、青少年育成市民会議の主導により「安全・安心パトロール自転車隊」を編成して、見守り活動に一層力を入れています。地域子育て支援委員会は、これらの活動をより効果的に実施できるよう各関係団体や学校関係者との調整を行い、それぞれの事業を周知する通知を出すなどして連携を図っています。

一連の安全・安心活動により、子どもの安全確保だけでなく、地域の人々のつながりが深まっていると感じています。



車などに貼るステッカー



下校時に子どもを見守る自転車隊

国見地区子育て支援委員会

委員数は市内最多の25人！
多方面から子育てを見つめています

委員長 中村 秀夫 さん



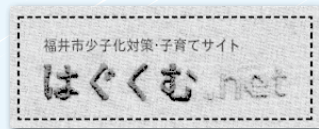
国見地区では、市内最多の25人が委員となっています。地区内の自治会や育成会はもちろん、各種団体、保育園、小中学校の教諭、駐在所の所長、議員など、さまざまな分野で活動している人で構成しているのが特徴です。

昨年11月には、委員のほか、子育てに関わっている人たち約40人が一堂に会して、「国見地区子育て座談会」を開催しました。「子どもたちが地域の良さに気づき、それを伝えることができるようにするには」などのテーマに沿って話し合いを進め、多方面から意見を出し合いました。

少子高齢化が著しい国見地区ですが、このような取り組みにより地域内の連携が強まってきており、さらに子育てしやすい環境を整えていくことがその解決策につながっていくと思っています。



委員と各種団体代表者が集う「子育て座談会」



<http://www.hagukumu.net/>

少子化対策や子育て支援に関する情報をわかりやすく伝え、有効に活用できるサイトです。各地域子育て支援委員会の活動も紹介しています。

地域子育て支援委員会は
市内全48地区（一光除く）で活動しています。
あなたも地域の子育てを支える
活動を担ってみませんか。

男女共同参画・少子化対策室
吉田

